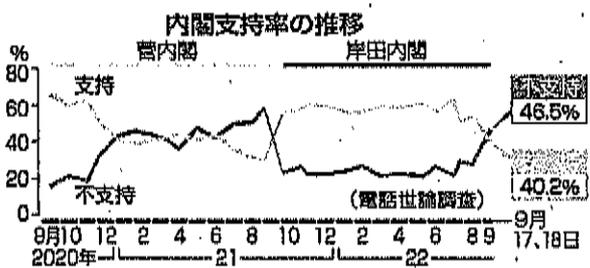


9/19福井

内閣支持急落40%最低

世論調査 国葬反対60%



共同通信社が17、18両日に実施した全国電話世論調査によると、岸田内閣の支持率は40.2%から13.9%に急落し、昨年10月の内閣発足以降最低となった。不支持率は18.3%増で最も高い46.5%。支持と不支持が初めて逆転した。安倍晋三元首相の国葬に「反対」「どちらか」と「反対」が計60.8%を占め、「賛成」「どちらか」と「賛成」の計38.5%を上回った。

【5面に国葬反対】

旧統一教会調査 自民不十分80%

自民党が世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と党所属議員の関係を公表した調査を巡り、自民党の対応が「十分ではない」との回答は80.1%で「十分だ」は16.1%を大きく上回った。説明不足との批判があ

る国葬実施決定までの経緯や、旧統一教会と自民党議員との関係が相次いだことが国民の不信を招き、内閣支持率低下につながったと言えそうだ。

自民党と旧統一教会との関係について「関係を断つことができない」と思うとの回答が77.6%に上った。「断ることができない」は17.8%。自民党が安倍氏と旧統一教会との関係を「調査するべきだ」は63.8%。「必要ない」は32.5%だった。

物価高に対する首相の対応を「評価しない」が70.5%、「評価する」は24.2%だった。政府の新型コロナウイルス対応については「評価する」が56.9%で、「評価しない」が39.4%だった。

沖縄県知事選で、米軍普天間飛行場(同県普天間市)の名護市辺野古への移設反対を訴えた玉城デニー知事が再選したにもかかわらず、移設を進める政府の姿

勢を「支持しない」が57.1%と、「支持する」が34.2%を上回った。政党支持率は自民党39.3%、立憲民主党9.9%、日本維新の会9.8%、公明党3.5%、共産党4.3%、国民民主党2.9%、れいわ新選組2.3%、社民党1.2%、NHK党0.7%、参政党1.8%。「支持する政党はない」とした無党派層は21.0%だった。

「支持する政党はない」とした無党派層は21.0%だった。

9/19 福井

共同通信社の世論調査で岸田内閣への支持率が急落し、初めて不支持率と逆転した。岸田文雄首相は安倍晋三元首相の国葬を巡る国会の閉会中審査に出発して説明し、自民党も世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との接点調査に踏み切ったものの、不発に終わり世論の離反を食い止められていない。政権内には「好転へのきっかけが見当たらぬ」（政府関係者）と危機感が一気に広がった。野党は10月3日自衛隊予定の臨時国会で徹底追及する構えだ。

内閣支持率急落

▽調査の方法＝全国の有権者を対象に、18歳以上のインターネット無作為に抽出された層に電話をかけるRDD（ランダム・ディジット・ダイヤリング）法を実施した。固定電話は、有権者の一部に調査対象から除いた。実際に有権者がいる世帯にかかったのは506件、うち426人から回答を得た。携帯電話は、電話がかかったのは1977件、うち693人から回答を得た。

止まらぬ世論離れ

◆失敗◆
「国民感覚からすれば後手の対応になっている」。自民の閣僚総辞職は18日、世論調査の結果にため息をついた。党が公表した旧統一教会と所属国会議員の接点調査には「不十分」との声が80.1%に上り「失敗だった。国民の納得を得られていない」とも述べた。

首相は8月の内閣改組・党役員人事後も旧統一教会問題が収まらず「もう一段踏み込んだ対応が必要だ」として自民に接点調査を指示。国葬の閉会中審査には自ら出席し、説明に努める姿勢を示して局面転換を図った。

だが、他党に揺られて行った接点調査は安倍氏や細田博之衆院議長、地方議員を対象とせず、世論の批判は拡大。国葬も経費が当初発表の約5億5千万円から、警備費などを加えると概算で16億6千万円に上ると明らかになり、反対論が増えた。

国葬、旧統一教会 納得得られず

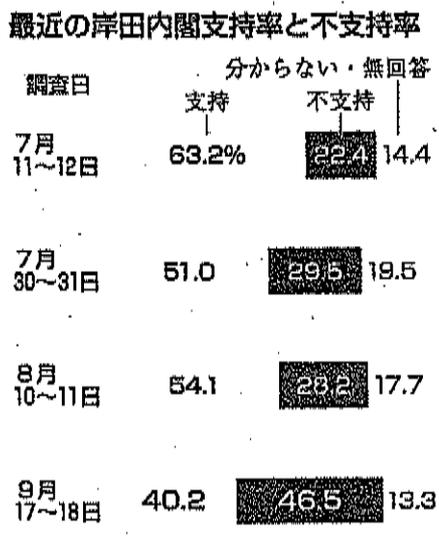
参院ペナランは「人事の効果が全く出ていない。むしろ逆襲している」と嘆く。「たまたま首相が決断する目的を外す」（世田役総辞職）との声も漏れる。

首相に近い議員は「当面は国葬廃止も覚悟も無い。一審一審せず、やるべきことをやらねばならぬ」と強がる。だが、公明党の山口那津男代表は旧統一教会との関係を断つとした自民の方針が信用されていないとし「国民に伝わる説明をしていただきたい」と促した。

◆不満◆
内閣不支持率は参院開議後の7月11～12日調査で22.4%だったのが、8月10～11日の前回調査では28.2%。さらに今回、46.5%と18.3%も急上昇した。

支持政党別にみると「支持する政党はない」として無党派層で内閣不支持が45.0%から63.9%に増加。自民支持層では15.7%で、支持の

「首相は求心力喪失」勢いづく野党



72.3%に比べると少ないが、前回の8.3%からほぼ近くに増えた。党内でも首相への不満が高まっている可能性もある。

不支持の理由は「首相に指導力がない」との回答が12.9%から倍以上の26.7%となり「経済政策に期待が持たない」と並んでトップだった。

◆危険水域◆
野党は勢いづく。立憲民主党の泉徳太代表は「首相は求心力を失い、危険水域に入った」と分析。進歩誠二代表代行は「首相の優柔不断さが支持率低下につながった」と述べ、臨時国会で攻勢を強める考えを示した。

共産党の小池晃書記局長は「首相は聞く耳も実行力もない。政権を倒す本気の野党共闘で臨む必要がある」と主張。与党との政策協議を強めてきた国民民主党の玉木雄一郎代表も「首相は何をしようか分からない」と苦言を呈した。

